

事業名

2023 年度 At-Kyoto ベビー&キッズ用品交換会と “かたりば” を軸とした地域ピアサポート事業

実施団体



はじめに

令和3年度から取り組んできた事業の3年目。

ベビー&キッズ用品交換会については、過去2年間で見えてきた事を踏まえ、今のニーズにあった形と、予算的にもマンパワ的にも持続可能なものに繋げていくことを、大きな目標として動きました。

今年度は、交換会に加えて、スペシャルニーズの子育てのサポートに繋げることを目指し、ダウン症のある命と暮らしに向き合う“かたりば”と名付け、7月から月に2回のペースで上京区役所4階和室に場を開きました。ダウン症関連の専門書籍や、一般には販売されていない冊子やリーフレット、最新の地域情報などを多く取り揃え、誰もが活用できる場として開放しました。閲覧だけでなく、貸出しも可能なダウン症関連の移動図書館として、今までなかった形のダウン症の啓発とピアサポートの場を開き、まずは、地域のニーズや実際の声に出会っていくことを目指しました。

ダウン症のある命と暮らしに向き合う“かたりば” 開催実績



- 実施回数 計22回
(内5回は左京西部ふれあいサロン)
- 利用世帯数 延べ約71世帯

ベビー&キッズ用品交換会 開催実績



●上京区内実施回数 計56回

会場：木村邸（上京区滋野学区民家）、つどいの広場そらひろば（常設型の交換スペースを設置毎週火・木曜日にオープン）、相談支援事業所しほふあーれ、小児用補装具ゆめ工房

●上京区以外での実施回数 計34回

会場：左京西部・東部ふれあいサロン、一乗寺フェス@一条寺公園、東山いきいき市民活動センター、深草子ども食堂@みんなのカフェいろいろ、深草100円商店街@深草小学校グラウンド、醍醐ゆめもり冬まつり@同和園、夏まつりマルシェ@パークホテル京都御池、ことりカフェ@天理教赤心分教会

合計90回実施

●上京区内での利用世帯数 約700世帯

●上京区以外の他での地域利用世帯数 約700世帯

合計1400世帯

※つどいの広場そらひろば交換スペースの利用者は含まない

●交換会専用公式LINEアカウント活用実績

個別対応（配達引回数）117件

登録者数758名 メッセージリーチ数642名

送信メッセージ総数約65,000通



LINE 公式アカウント



3年間の振り返り

子育て世帯の見守りと、地域の中のセーフティーネットとなりうる人や場を増やすことを目指したこの事業は、3年前に、上京区民まちづくり活動支援事業としてスタートしました。

コロナ禍に上京区出水学区のたった1箇所から始まった、小さな小さな取り組みは、地域の子育て世帯の持つニーズとマッチし、気兼ねなく繰り返し訪れられる、そんな場となっていました。口コミで広がり、ひとがひとを呼び、LINE公式アカウントの力も大きく、ユーザーは日々増えていきました。

この補助金のおかげで、思う存分試行錯誤を重ねる事ができ、紆余曲折しながらも、次第に地域の中に共感して下さる方々が増え、場や機会の提供、場づくりや事業継続のサポートなど、様々な形で、その手と力を貸して下さる方が各地に生まれていきました。

1年だけでは見えなかったこと、2年では感じられなかったこと、3年続けたからこそ実現したことや、4年目に向けての希望も見えてきました。特に3年目の夏頃からは飛躍的な伸びを実感しています。3年間で得たのは、確かな実績と、確かな繋がり、確かな仲間。あふれんばかりに豊かな、人との関係性。今後も、そんな一人一人との関係性を一層大切にしながら、たくさんの力を借りながら誰もが安心して“寄り合える場”づくりに、試行錯誤を重ねていきたいと思っています。子育てとダウン症、この2つのキーワードを媒体とし、地域に生きる人と人が、互いにそれぞれが出来る形で関わり見守り支え合える、誰もが今よりちょっと生きやすくなるような地域風土の醸成に、少しでも力になれると嬉しく思います。

様々な出来事、その経過、紆余曲折を、多くの方に見守って頂き、支えて頂きながら歩んできたこの3年間は、深く記憶に残るものとなりました。3年間、上京区民まちづくり活動支援に様々な形で関わってくださった皆さま、行政の皆さまに、改めて感謝と敬意を。

協力：つどいの広場そらひろば / 上京区滋野学区木村さん / 一般社団法人ライフラボ相談支援事業所しほふあーれ / 出水学区民生児童委員協議会 / 小児用補装具専門ゆめ工房 / 左京西部いきいき市民活動センター / 左京東部いきいき市民活動センター / 東山いきいき市民活動センター / 深草子ども食堂 / あいあい助産院 / チーム KUSABI 他
補助：令和5年度京都市子どもの見守り活動支援事業補助金
後援：上京区社会福祉協議会
デザイン：カズマキカク

お問い合わせ先

LINE公式アカウントからも
お問い合わせできます。

☎ 090-5057-5932 (武田みどり)

✉ atkyoto21@gmail.com



At-KyotoHP



Instagram



At-Kyoto は **こんなこと** をしてきました

2014年から始めたバディウォーク@京都は **10周年**を迎えました。



ベビー&キッズ用品交換会 (地域の公共クローゼット)

妊婦さんから、おじいちゃんおばあちゃん、ご近所さんや通りすがりの方まで。誰もが寄り合い、知らない人が顔見知りになれる場所。
地域の公共クローゼットとして、
いつもたくさんの人が訪れ、
賑わっています。



交換会 HP



ピアサポート (情報提供と啓発)

ダウン症のある命とともに暮らす人、ダウン症のある人やそのご家族を支える人への情報提供や相談にピアサポーターとして対応しています。
2022年には京都市に対しダウン症のある子育て手帳『+Happy しあわせのたね』の寄贈に関わり、現在京都市の各区のはぐみ窓口にて必要な方へ手渡しされています。



世界ダウン症の日イベントと バディウォーク@京都 (交流と啓発)

ダウン症につながる仲間を増やす
●ダウン症のある人、ダウン症のある
子育てをする人⇒出会い知り合う機会を
●まだダウン症のある人とご縁のない人へ
⇒出会い知り合う機会を



10年の歩み映像



かたりば

ダウン症に関連する
ピアサポートとして
今年度新たにスタートしました。

毎月第2木曜日と第4火曜日
13:00 ~ 17:00
上京区役所の4階和室にて開いています

ダウン症のある暮らしについて、ダウン症候群(21トリソミー)に関連することについて“話せる窓口”
生まれる前から成人期の、生きる・楽しむ・学ぶ・働くなど、ダウン症のある暮らしを支える上で参考になる書籍や一般販売されていない冊子などの閲覧・貸し出し可能な“情報図書館”

交換会 3年間のあゆみ

2021

ダウン症のある子育てだけでなく、すべての子育て世帯の孤立に危機感を感じ、3密にならず、子育て仲間が会える機会をつくることはできないか??
外でも出来て、行ってみたいと思える場って?必要とされる場って??と考える時に頭に浮かんだのが、以前、ベビー&キッズ用品交換会コデカケさんの協力を得て開いていた交換会。
その時の事を思い出し、コロナ禍に対応した新たな形でスタートしたのがこの交換会です
上京区出水学区の民生児童委員有志の協力を経て、相談支援事業所しほふあーれさんの力を借り、一つの拠点から始まりました。

2022 2023

最初上京区に1箇所だった拠点が、
多方面からのお声掛けをいただき
上京区に3箇所、左京区に2箇所、東山区1箇所と増えていきました
それ以外の7箇所出張交換会も実施出来ました
そのうち2箇所の拠点では、常設の交換スペースを置いてくださっています
それぞれの地域の交換会が、“その地域にあるもの”となっていく事を願いながら取り組んで出来ました
しほふあーれ交換会は、地域の出水民生児童委員協議会の主催となり、より地域に根ざした場へと変化しています

2024

南区にも一つの常設拠点ができ、あと3箇所での出張交換会の予定が決まっています

協力者の広がり

それぞれの拠点は、「うちでやってみませんか?力を貸しますよ」の声によって、交換会を開く事が実現していますが、交換会ユーザーであるママ達が、お手伝いを買って出てくださいる事も出てきて、今はみんなの力で交換会の場が出来上がっています
大型用品や個別ニーズへの対応については、公式ラインカウントを活用し、譲りたい人と欲しい人をマッチングし、動く事が難しい世帯については、車と自転車を使い、引き取りや配達も積極的に実施してきましたが
常にマンパワー不足な状況...
そんな中、バディウォーク@京都を通じて繋がった仲間“チーム KUSABI”が、頼もしい協力者として、車での引き取りと配達、出張交換会の搬入や設営など、多くを担ってくださるようになりました

